

自動ダンパキット

2位置タイプ JD-05T

取扱説明書

株式会社 関西電熱

OP-003

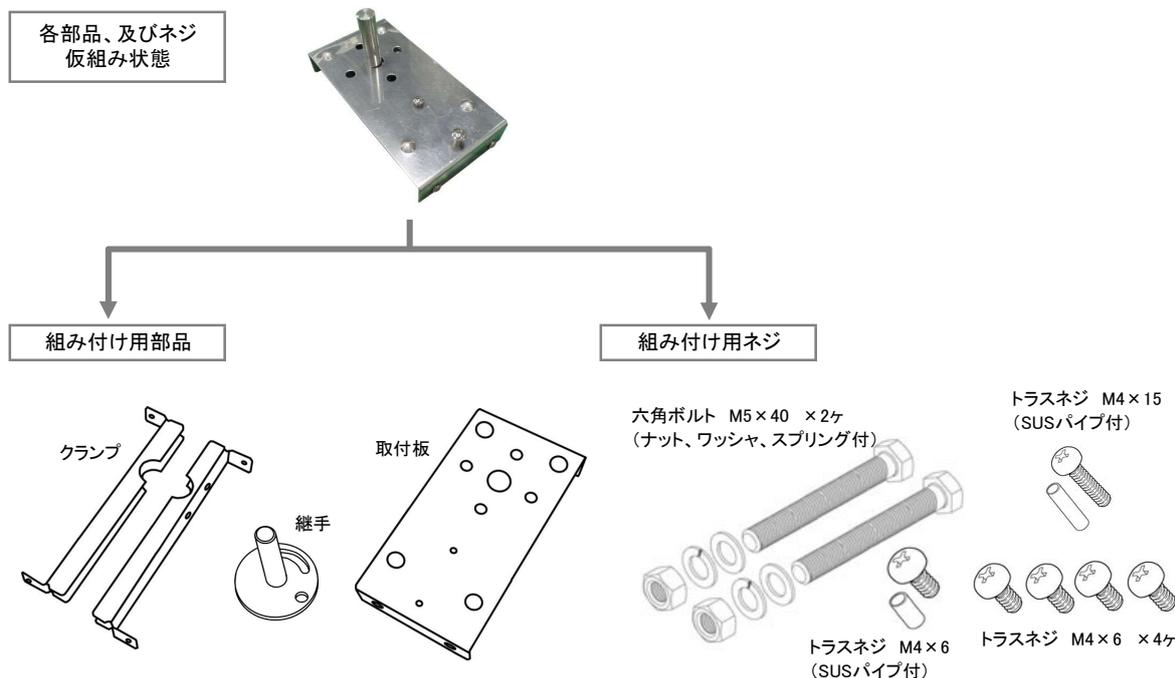
作成日:2021年9月

1. 仕様

- 定格電圧 AC24V 50/60Hz、またはDC24V
- 出力軸トルク 5N・m
- 回転時間 約30秒/90°
- 駆動部使用周囲温度 -5°C~+40°C(凍結しないこと)
- 使用周囲湿度 85%R.H.以下(非結露)
- 消費電力 5VA(AC)/2.4W(DC)
- 開閉角度 90°
- 予想寿命 約25,000回程度

2. 組み付け準備

- 付属の組み付け用部品をご確認ください。
各部品、及びネジは仮組みした状態で付属していますので、分解して確認願います。



- 組み付け用の工具をお客様にてご準備ください。
 - ・ プラスドライバー
 - ・ 8mmスパナ、または8mmボックスドライバー
 - ・ 3.5mm六角レンチ



3. 組み付け

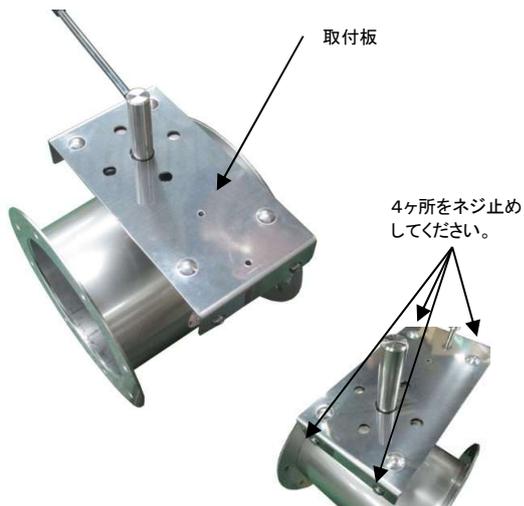
- ① 全開状態でダンパのハンドルと蝶ネジを取り外してください。 ② ダンパのシャフト部をクランプにて挟み込み、ワッシャをはめ込んだ六角ボルトをスプリングとナットで組み付けてください。



- ③ 継手をダンパの目盛り板と位置をあわせて取り付けてください。 ④ SUSパイプを挿入したトラスネジ M4×6にて、継手を固定してください。



- ⑤ 取付板をトラスネジM4×6にて、クランプへ固定してください。 ⑥ 駆動部本体を、SUSパイプを挿入したトラスネジ M4×15で取付板へ固定し、ダンパシャフト部2ヶ所を六角レンチで締め付けてください。



※ 取付板と継手を含めた駆動部は、構造上、必要な隙間が設けられているため、継手と駆動部には若干のがたつきがありますが、使用上、問題はありません。

当社ホームページにて
実演動画で確認できます。



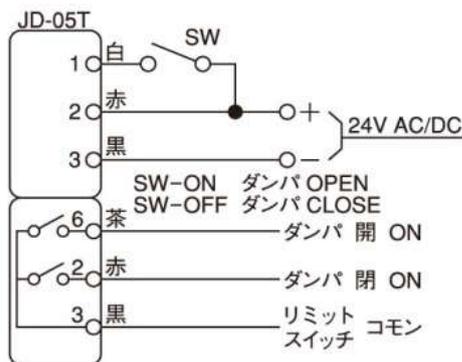
4. 取り付け

- ① 駆動部の荷重により、ダンパに傾きや歪みが生じないように、ダンパ本体をしっかりと固定してください。ダンパに傾きや歪みが生じると、ダンパ羽がロック状態となり、モータが焼き付く可能性があります。
- ② フランジ無しタイプのダンパをご使用の場合は、特に傾きや歪みにご注意ください。また、ダンパ内熱風温度が150℃を超える場合は、両フランジ付ダンパをご使用ください。
- ③ 駆動部の取り付け方向は、フランジ等の干渉がなければ360°フリーです。取り付け方向を変更する場合は、3. 組み付けの②にてクランプの取り付け方向を変更してください。
- ④ 取り付けできない場所
 - ・ 振動のある場所
 - ・ 可燃物の近辺
 - ・ 酸性ガス、腐食性ガス等が浮遊している場所
 - ・ 周囲温度-5℃～+40℃以外の場所
 - ・ 風雨にさらされる場所
 - ・ 周囲湿度85%R.H.以上の場所

5. 配線・運転

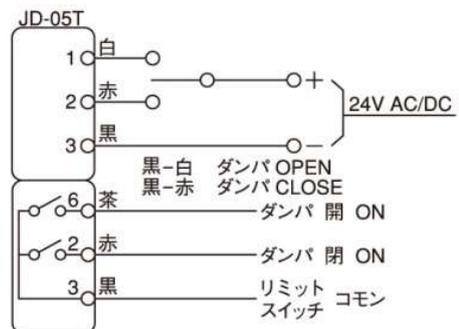
- ① 自動ダンパの配線は、電源供給線(黒色ケーブル線:白、赤、黒の3心)と出力信号線(灰色ケーブル線:茶、赤、黒の3心)の2ケーブル線となります。各ケーブル線を間違わないように配線してください。
- ② 専用の電源回路を確保してください(並列運転の場合は、台数分の電源容量を確保してください)。
- ③ 配線はダンパの近くに中継BOXを設けて、BOX内で接続してください。
- ④ 下記接続例に従って、回路を構成してください。

〈接続例〉



- 自動ダンパが開状態から、AC24Vを電源供給線の2(赤線)と3(黒線)に、また、DC24Vのプラスを2(赤線)、マイナスを3(黒線)に供給すると自動ダンパは閉になり、出力信号線の3(黒線)と2(赤線)がONになります。
- 自動ダンパが閉状態から、AC24Vを電源供給線の1(白線)と3(黒線)に、また、DC24Vのプラスを1(白線)、マイナスを3(黒線)に供給すると自動ダンパは開になり、出力信号線の3(黒線)と6(茶線)がONになります。

- ⑤ 出力信号線(灰色ケーブル線:茶、赤、黒の3心)は、ダンパの開閉状態を表示する場合に使用してください。(接点容量 250VAC 3A)
- ⑥ ダンパの開閉を中間にて停止したい場合は、停止したい位置で電源供給線の1(白線)と2(赤線)への電源供給を遮断する回路を構成してください(右記接続例参照)。



- 注意 : 動作時に駆動部がわずかに動くので、若干のたるみを持たせた配線をおこなってください。
- 注意 : 配線が高温のダンパ部等に接触しないように注意してください。

6. 使用上の注意

- ① 必ず試運転をおこない、動作を確認してください。
- ② 駆動部を分解して内部を調整しないでください。開閉角度のズレ、開閉信号の誤出力、及び故障の原因となります。
- ③ 駆動部のスイッチは触らないでください(出荷時調整済み)。故障の原因となります。
- ④ ダンパの羽根にごみ、ほこり等が付着すると、回転時間が長くなったり、全閉、全開ができなくなります。定期的にダンパ内部を点検してください。



熱風発生機

製造
販売元



株式会社 関西電熱

本社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号
TEL (06) 6785-6001(代) FAX (06) 6785-6002
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号
TEL (03) 5710-2001(代) FAX (03) 5710-2005
ホームページ www.kansaidennetsu.co.jp